

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 3 日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 佐賀県佐賀市兵庫北 7 丁目 8-3 号

株式会社 茂丸工業
氏 名 代表取締役 中島茂雄

電話番号 0952-37-7754

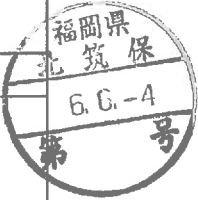
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 茂丸工業
事業場の所在地	福岡県内事業場
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	資本金100万
③ 従業員数	23人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	11 t	933 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
	排出量	177 t	8,830 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
	排出量	13 t	37 t
	産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
	排出量	106 t	26 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	73 t	72 t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
・再資源として販売している処理業者への委託 ・解体現場における作業工程を見直し、廃棄物の排出量削減を図った			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	8 t	850 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
	排出量	140 t	7,700 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
	排出量	9 t	30 t
	産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
	排出量	85 90 t	20 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排出量	60 t	60 t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
・再生利用を行う処理業者への処理委託を積極的に行う ・有価物や再資源化可能な産業廃棄物の選別の徹底			

産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・各工事現場での分別を徹底している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・これまで同様、各工事現場での分別を徹底する		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他 コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	その他 廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 アスファルトがら	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状	【前年度 (5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類
	木くず		
	全 処 理 委 託 量	11 t	933 t
	優良認定処理業者への委託量	t	315 t
	再生利用業者への委託量	11 t	618 t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		がれき類
	その他 コンクリートがら		
	全 処 理 委 託 量	177 t	8,830 t
	優良認定処理業者への委託量	28 t	2,636 t
	再生利用業者への委託量	149 t	6,194 t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・再資源として販売している処理業者への委託 ・処分業者の選定にあたり、工事現場から近い再生処理業者の選択 ・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努めている			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類
	木くず		
	全 処 理 委 託 量	8 t	850 t
	優良認定処理業者への委託量	t	256 t
	再生利用業者への委託量	8 t	594 t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		がれき類
	その他 コンクリートがら		
	全 処 理 委 託 量	140 t	7,700 t
	優良認定処理業者への委託量	20 t	2,200 t
	再生利用業者への委託量	120 t	5,500 t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・再資源として販売している処理業者への委託 ・処分業者の選定にあたり、工事現場から近い再生処理業者の選択 ・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努めている ・可能なかぎり優良認定処理業者を選定する			

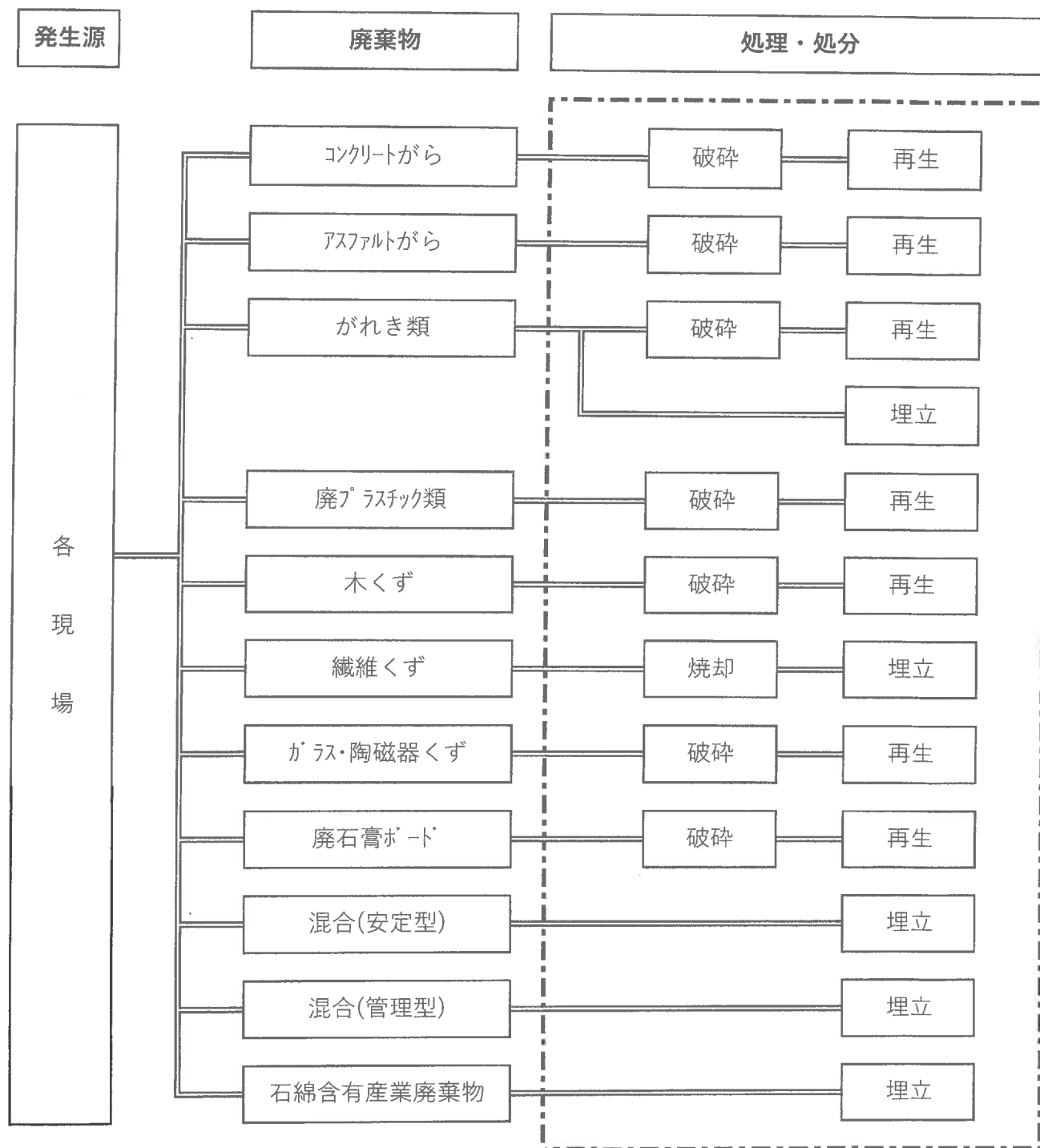
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状	【前年度 (5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		繊維くず
	その他 廃石膏ボード		
	全 処 理 委 託 量	13 t	37 t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	13 t	37 t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		その他 アスファルトがら
			ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	106 t	26 t
	優良認定処理業者への委託量	13 t	t
	再生利用業者への委託量	93 t	26 t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・再資源として販売している処理業者への委託 ・処分業者の選定にあたり、工事現場から近い再生処理業者の選択 ・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努めている			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		繊維くず
			その他 廃石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	9 t	30 t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	9 t	30 t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		その他 アスファルトがら
			ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	90 t	20 t
	優良認定処理業者への委託量	10 t	t
	再生利用業者への委託量	80 t	20 t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・再資源として販売している処理業者への委託 ・処分業者の選定にあたり、工事現場から近い再生処理業者の選択 ・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努めている ・可能なかぎり優良認定処理業者を選定する			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

	【前年度 (5 年度) 実績】		
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物 管理型混合廃棄物
①現状	全 処 理 委 託 量	73 t	72 t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	73 t	72 t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・再資源として販売している処理業者への委託 ・処分業者の選定にあたり、工事現場から近い再生処理業者の選択 ・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努めている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	60 t	60 t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	60 t	60 t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・再資源として販売している処理業者への委託 ・処分業者の選定にあたり、工事現場から近い再生処理業者の選択 ・各工事現場での分別を徹底し、最終処分量の削減に努めている		

④産業廃棄物の一連の処理の工程



——— 産業廃棄物の流れ

- - - - - 委託処理部分の範囲